

## 文学作品を評価する

### 1 指導のねらい（身に付けさせたい力）

- ①二つのものを比べながら読み、その違いをとらえることができる。
- ②作品の構成や表現上の特色を踏まえ、自分の考えをもつことができる。

### 2 指導の実際

学習活動と発問（ <b>発</b> は発問）	指導上の留意点と評価（ <b>評</b> は評価）
<p>(1) 本時のめあてを確かめる。</p> <p>(2) 資料【A】と【B】とを音読する。</p> <p>(3) 【A】と【B】の終わり方を比較し、表現上の特色を踏まえて自分の考えをもつ。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><b>発</b> 【A】と【B】の違いはどこにありますか。違いの見られる言葉に線を引きましょう。</p> <p><b>発</b> もしも、最後の一文が【B】のようであったら、受ける感じはどう違うでしょう。考えを出し合ひましょう。</p> </div> <p>(4) 【C】の資料により、文章を比較しながら評価する。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><b>発</b> 知子さんと由美さんとの意見に対して、あなたはどう思いますか。条件に合わせて自分の考えを書きましょう。</p> <p><b>発</b> できあがった意見文を交流してみましよう。どんな感想をもちますか。</p> </div> <p>(5) 指導者の話を聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「注文の多い料理店」の学習後であれば、印象に残った箇所の感想を交流し合ってもよい。</li> <li>・資料の配付と音読 (一斉読み、ペアで交替読み、会話と地の文の役割読み等、音読のさせ方を工夫する。)</li> <li>・ペアになり、次のような順で対話させる。             <ul style="list-style-type: none"> <li>①【A】と【B】のどちらがいいか。</li> <li>②それはなぜか。根拠をナンバリング。</li> </ul> </li> <li>・他の例を示しながら、表現の特色を味わわせる。</li> </ul> <p><b>評</b> 二つのものを比べて、その違いをとらえることができたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・書き方の条件に合わせて、自分の意見を書かせる。文字数については児童の実態に合わせて調整してもよい。</li> <li>・グループになり、回し読みをするなどしてお互いの意見文に感想をもつ。</li> <li>・よく書けている物を全体で取り上げて、評価し合う。</li> </ul> <p><b>評</b> 【C】の資料を比較しながら、評価・批評しているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・書かれているものを、これでいいのかと自分の目で見直すことの楽しさと大切さを話す。</li> </ul>

〈資料〉 どこがどんなふうに違うかな。物語の終わりの部分【A】と【B】を比べよう。

【A】

犬がフーとうなってもどつてきました。そしてうしろからは、

「だんなあ、だんなあ、」

とさげぶ者があります。

二人はにわかに元気がついて

「おうい、おうい、ここだぞ、早く来い。」とさげびました。

みのぼうしをかぶった専門せんもんのりよう師が、草をザワザワ分けてやってきました。

そこで二人はやつと安心しました。

そしてりよう師の持ってきただんごを食べ、とちゅうで十円だけ山鳥を買って東京に帰りました。

しかし、さつきいっぺん紙くずのようになった二人の顔だけは、東京に帰っても、お湯に入っても、もう元のとおりになおりませんでした。

【B】

犬がフーとうなってもどつてきました。そしてうしろからは、

「だんなあ、だんなあ、」

とさげぶ者があります。

二人はにわかに元気がついて

「おうい、おうい、ここだぞ、早く来い。」とさげびました。

みのぼうしをかぶった専門せんもんのりよう師が、草をザワザワ分けてやってきました。

そこで二人はやつと安心しました。

そしてりよう師の持ってきただんごを食べ、とちゅうで十円だけ山鳥を買って東京に帰りました。

しかし、さつきいっぺんくしゃくしゃになった二人の顔だけは、もう元のとおりになおりませんでした。

あなたの考え

①どちらがいいと思いますか。

○で囲みましょう。

【A】の方がいい。

【B】の方がいい。

②それはなぜですか。理由を複数書きましょう。

友だちの意見も聞いて書き加えましょう。



由美さんの学級では「注文の多い料理店」の内容を読み取ったあと、この物語の終わり方について考えてみることにしました。よく読んで、あとの問いに答えましょう。\*解答はすべて、次の解答用紙に書きましょう。

### 物語の終わりの部分【A】

犬がフーとうなつてもどつてきました。そしてうしろからは、

「だんなあ、だんなあ、」

とさげぶ者があります。二人はにわかにな気がついて

「おうい、おうい、ここだぞ、早く来い。」

とさげびました。

みのぼうしをかぶった専門せんもんのりよう師が、草をザワザワ分けてやってきました。

そこで二人はやつと安心しました。

そしてりよう師の持ってきただんごを食べ、とちゆうで十円だけ山鳥を買って東京に帰りました。

しかし、さつきいっぺん紙くずのようになった二人の顔だけは、東京に帰っても、お湯に入っても、もう元のとおりになおりませんでした。

一 由美さんは、【A】の部分の最後の一文が【B】のようになったら、ずいぶん受ける感じが違うなあと思いました。……の部分があるとどのような違いが生まれますか。……の部分の言葉を使いながら、あなたの考えを説明しましょう。

【B】

しかし、さつきいっぺんくしゃくしゃになった二人の顔だけは、もう元のとおりになおりませんでした。

二 次に、この物語の終わり方について意見交流をした由美さんは、となりの席の知子さんと次のような会話を交わしました。

知子さん

私はこの部分はないほうがいいと思うな。「だんごを食べ、とちゆうで十円だけ山鳥を買って東京に帰った」というところで終わったほうがいいよ。

由美さん

そうかなあ、私は、この部分が**あったほうがいい**と思うわ。

あなたは、知子さん、由美さんのどちらの考えに賛成しますか。どちらか一人を選び、**あなたが選んだ人の名前**を解答用紙に書かれている書き出し文の□に書きましょう。

そのうえで、あなたがそのように考える理由を、次の**条件1**から**条件3**にしたがって書きましょう。

**条件1** 書き出しの文に続けて書くこと。

**条件2** 本文中の表現や内容に触れること。

**条件3** 六十字〜八十字で書くこと。

(書き出しの文の字数を含みます。)



◎ 出題のねらい

- ・ 二つのものを比べながら読み、その違いをとらえることができるかどうかをみる。
- ・ 作品の構成や表現上の特色を踏まえ、立場を明確にして自分の考えが書けるかどうかをみる。

## 【解答例】

一 「くしゃくしゃになった」よりも「紙くずのように」とたとえてあった方が、その様子がありありと目に浮かび、くしゃくしゃになった紙くずがそうであるように、もう決して元にはもどらないということが連想できる。また、「東京に帰っても、お湯に入っても、」と例を挙げることによって、どんなことをしても元にはもどらなかったのだということが強調される。

\*採点基準 「紙くずのように」と「東京に帰っても、お湯に入っても、」の二カ所について、その違いを説明している。

二

ま	で	物	そ	れ	二	に	
れ	想	語	ん	た	人	賛	私
る	像	の	な	の	は	成	は
か	す	続	は	だ	本	で	知
ら	る	き	ず	ろ	当	す	子
で	楽	を	は	う	に	。	さ
す	し	自	な	か	無	な	ん
。	み	分	い	、	事	ぜ	の
	が	自	な	い	に	な	考
	生	身	ど	や	帰	ら、	え

る	よ	お	ろ	の	と	に	
か	う	き	か	お	い	賛	私
ら	な	ゆ	な	ち	う	成	は
で	そ	う	し	が	語	で	由
す	う	が	ん	用	に	す	美
。	か	す	士	意	よ	。	さ
	い	え	た	さ	り	「	ん
	感	ら	ち	れ	、	し	の
	が	れ	に	、	最	か	考
	残	た	も	お	後	し」	え

\*解答用紙の採点基準六項目を参考に採点する。

